本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO®

2495＊JA

P

取扱説明書

◆本機の特長◆

- ●マルチイルミネーター
- ●ワールドタイム
- ●デイカウンター
- ●テレメモ
- ●ストップウオッチ
- ●タイマー
- ●アラーム・時報

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 …… 表紙裏面
ライト点灯について …… 8
操作のしくみと表示の見方 …… 12
ワールドタイムの使い方 …… 17
- 都市のサーチ …… 18
- サマータイム（DST）について …… 19
- サマータイムのON／OFF設定 …… 19
- 都市コード一覧 …… 20

デイカウンター機能の使い方 …… 21
- メモリーを見る …… 22
- タイトル、設定日のセット（修正） …… 22
- 設定した「月日」になると …… 25

テレメモ機能の使い方 …… 26
- データを見る …… 26
- データを入力する …… 27
- データの修正／消去 …… 30

ストップウオッチの使い方 …… 31
- 計測のしかた …… 31

タイマーの使い方 …… 33
- タイマー方法について …… 33
- タイマー時間のセット …… 34
- タイマーの使い方 …… 37
- タイムアップになると …… 37
- 鳴っている電子音を止めるには …… 37

アラーム・時報の使い方 …… 38
- アラーム時刻のセット …… 38
- アラーム・時報のON／OFF設定 …… 42
- 鳴っている電子音を止めるには …… 42
- モニターアラーム …… 42

時刻・カレンダーの合わせ方 …… 43
- 時刻・カレンダーのセット …… 43

製品仕様 …… 48
ご使用上の注意 …… 50
お手入れについて …… 54
電池交換について …… 55

ライト点灯について

どのモードのときでも、

Ⓑ ボタンを押します



➔約３秒間文字板が発光して、暗いところでも表示を見ることができます。

※時刻モードのときは、ライト点灯と同時に、アニメが表示されます。

※本機のライトは、３色発光のマルチイルミネーター*で、お好みで色の設定を替えることができます。

* マルチイルミネーターとは、複数色の発光ができる、LED バックライトのことです。

ご注意

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。

●発光中に Ⓑ ボタン以外のボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

●ライトの色を選ぶ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➔「秒」が点滅します。

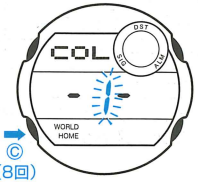


2.「ライトの色設定」に切り替える

Ⓒ ボタンを８回押します

➔ライトの色設定表示になります（右図）。

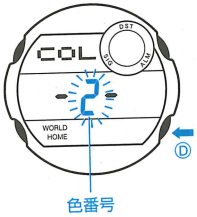
※Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が移動します（44 ページ参照）。



3. 色番号を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとに色番号が切り替わります。



★ライトの色について

	色番号 -1-	色番号 -2-	色番号 -3-
時刻モード	①	②	③
ワールドタイムモード	②	③	①
デイカウンターモード	③	①	②
テレメモモード	①	②	③
ストップウオッチモード	②	③	①
タイマーモード	③	①	②
アラームモード	①	②	③

①=ピュアレッド／②=タンジェリンイエロー／
③=フォレストグリーン

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

操作のしくみと表示の見方

●各部の名称

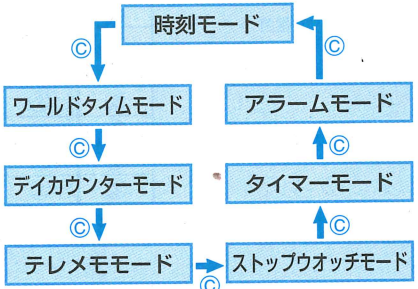


<時刻モード>

●モードの切り替え

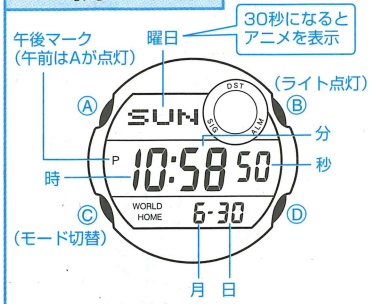
Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※デイカウンターモード、テレメモモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



●各モードの表示の見方

時刻モード



<曜日の見方>

SUN：日	MON：月	TUE：火
WED：水	THU：木	FRI：金
SAT：土		

★表示切替

Ⓓボタンを押すごとに「月・日」と「ワールドタイム*」が切り替わります。

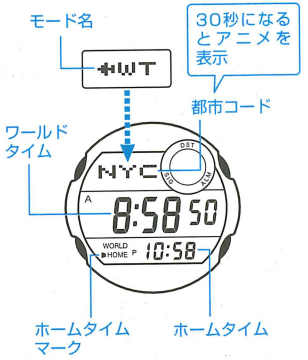
*ワールドタイムモードで表示させている都市の時刻を表示します。



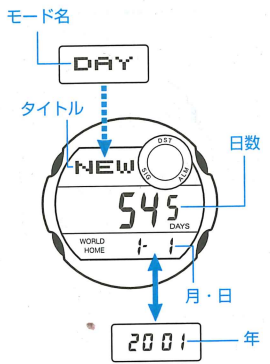
★12/24時間制表示切替

Ⓓボタンを約2秒間押すごとに12時間制表示（午前“Aが点灯”／午後“Pが点灯”）と24時間制表示とが切り替わります。

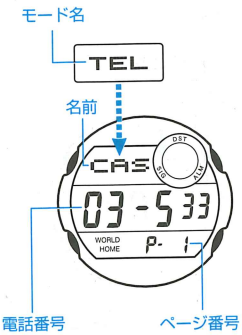
ワールドタイムモード



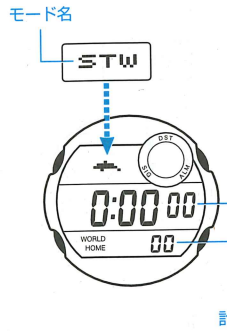
デイカウンターモード



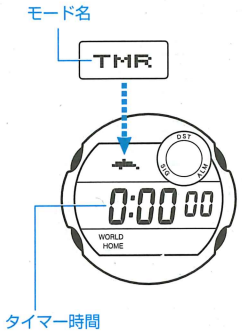
テレメモードモード



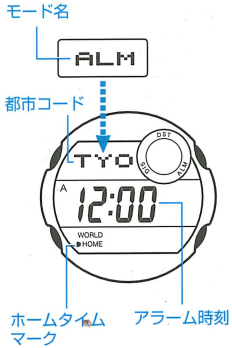
ストップウオッチモード



タイマーモード



アラームモード



ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を簡単に知ることができます。

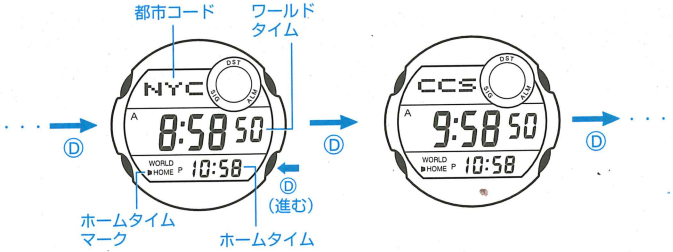
※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※時刻モードでホームタイムと都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。（43ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動して表示されます。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、各都市の時刻を表示します。
※押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から１時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

ワールドタイムモードのとき、

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➔DSTマークが点灯して、通常の時刻より１時間早まります。
※DSTマークが点灯しているときに、Ⓐ ボタンを約２秒間押すと通常の時刻に戻ります。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	PAR	+1	パリ	DAC	+6	ダッカ
HNL	−10	ホノルル	MIL	+1	ミラノ	RGN	+6.5	ヤンゴン
ANC	−9	アンカレジ	ROM	+1	ローマ	BKK	+7	バンコク
YVR	−8	バンクーバー	BER	+1	ベルリン	SIN	+8	シンガポール
SFO	−8	サンフランシスコ	IST	+2	イスタンブール	HKG	+8	ホンコン（香港）
LAX	−8	ロサンゼルス	CAI	+2	カイロ	SEL	+9	ソウル
DEN	−7	デンバー	JRS	+2	エルサレム	TYO	+9	東京
MEX	−6	メキシコシティ	JED	+3	ジェッダ	ADL	+9.5	アデレード
CHI	−6	シカゴ	THR	+3.5	テヘラン	GUM	+10	グアム
MIA	−5	マイアミ	DXB	+4	ドバイ	SYD	+10	シドニー
NYC	−5	ニューヨーク	KBL	+4.5	カブール	NOU	+11	ヌーメア
CCS	−4	カラカス	KHI	+5	カラチ	WLG	+12	ウェリントン
RIO	−3	リオデジャネイロ	MLE	+5	マーレ			
LON	+0	ロンドン	DEL	+5.5	デリー			

※この表は2001年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

デイカウンター機能の使い方

デイカウンターモードでは、タイトル（8文字）と年月日を5件メモリーでき、自動的に今日からの日数を計算して表示します。
また、設定した「月日」になると表示で知らせてくれます。

●未来の予定日などを設定…今日からの残日数を表示
●過去の記念日などを設定…今日までの経過日数を表示

※工場出荷時は、「タイトルなし／2001年1月1日」で5本ともメモリーされています。
※デイカウンターモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■メモリーを見る

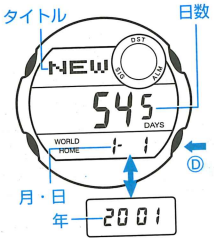
デイカウンターモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※1秒ごとに「年」と「月・日」が切り替わって表示されます。

※タイトルが4文字以上のときは右から左に流れて表示されます（タイトルの最後に "◀" マークがつきます）。



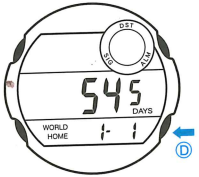
■タイトル、設定日のセット（修正）

1. セット（修正）したいページを選ぶ

デイカウンターモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押して、セット（修正）したいページを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➔タイトルの1桁目が点滅します。



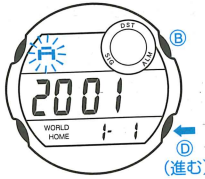
3. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進みます。

※押し続けると早送りします。

※表示が点滅しているとき、Ⓓ ボタンとⒷ ボタンを同時に押すと、"CLR" 表示後タイトルが消去され、今日の日付がセットされます。

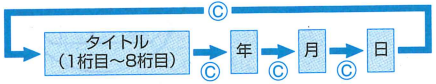


4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➔Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。





3.～4.の操作を繰り返して、タイトル、設定日をセット（修正）します。

※タイトルは最大８文字まで入力できます。入力できる文字は（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（.－）です。

※「年」は1940～2039年の範囲内でセットできます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※セットを終わると、今日から設定日までの日数を自動的に計算します。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■設定した「月日」になると

時刻モードのカレンダーと設定した「月日」が一致すると、時刻モード、デイカウンターモードの該当ページで“DAYS”マークが点滅して知らせてくれます。

<時刻モード>



テレメモ機能の使い方

テレメモモードでは、名前（8文字）と電話番号（12桁）のデータを20件メモリーできます。
※テレメモモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■データを見る

テレメモモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➜Ⓓ ボタンを押すごとにページが切り替わります。
※押し続けると早送りします。
※名前が４文字以上のときは右から左に流れて表示されます（名前の最後に“◀”マークがつきます）。
※電話番号が７桁以上のときは、最初の６桁を２秒間表示後、右から左に流れて表示されます。



■データを入力する

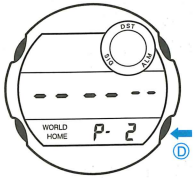
1. 空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、

Ⓓ ボタンを押して空きページを表示させます

※電話番号部にデータを入力していないときは“------”と表示されます。
※データがすでに20件メモリーされているときは、不要なデータを消しておいてください。（30ページ「■データの修正／消去」参照）

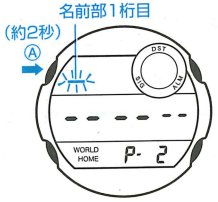
<空きページ>



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➜名前部の１桁目が点滅します。

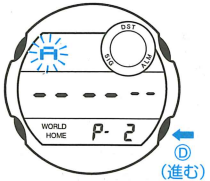


3. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進みます。

※押し続けると早送りします。

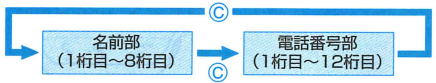


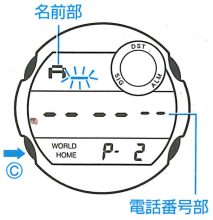
4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➔Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。





3.～4. の操作を繰り返して、データを入力します。

※名前は最大８文字まで入力できます。入力できる文字は（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（.－）です。

※電話番号は最大12桁まで入力できます。入力できる文字は記号(－)、数字(0～9)、(空白)です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けてデータを入力したいときは、1.～5.の操作を繰り返し行なってください。

■データの修正／消去

1. Ⓓ ボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

2. Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➜名前部の１桁目が点滅します。

3. データを修正／消去する

- データ修正➡ Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ ボタンを押して正しい文字（数字）を表示させます。
- データ消去➡ Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。“CLR” 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。
※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. 修正／消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは、1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測を続けます。

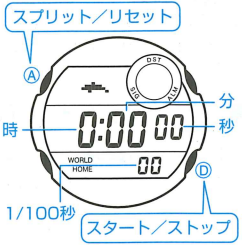
■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➜Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測をスタートすると１時間ごとに電子音が１秒間鳴ります。



- 計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL” 表示）。
  ※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- 計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

●通常計測



＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



●1・2着同時計測



タイマーの使い方

タイマーは、1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。
※タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます（36ページ「★タイマー方法の選び方」参照）。

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。
※オートリピートタイマーを選ぶと“↻”マークが点灯します。

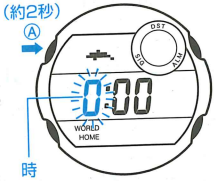
■タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

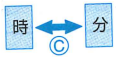
➔「時」が点滅します。

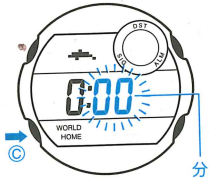


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➔Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



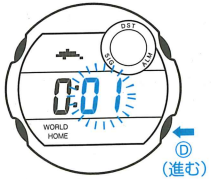


3. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。



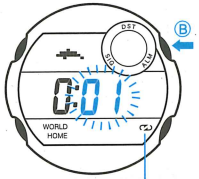
2.～3.の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

※タイマー時間を24時間に設定するときは表示を“0：00”にします。

★タイマー方法の選び方
表示が点滅しているとき、

Ⓑ ボタンを押します

➜Ⓑボタンを押すごとに、リピートタイマーとオートリピートタイマー（↻点灯）が切り替わります。



オートリピートタイマーのとき“↻”点灯

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

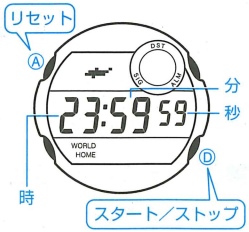
■タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➜Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は１秒単位で行ないます。



●計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
●ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

アラームは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。
※アラーム・時報はホームタイムまたはワールドタイムに合わせて鳴らすことができます。

■アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➔「都市コード」が点滅します。
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。

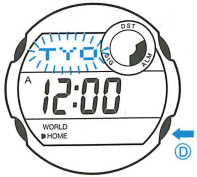


2.「都市コード」を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓボタンを押すごとにホームタイム都市とワールドタイム都市＊が切り替わります。
＊ ホームタイム都市＝時刻モードで設定している都市。
ワールドタイム都市＝ワールドタイムモードで表示させている都市。

※ホームタイムに合わせて鳴らしたいときはホームタイム都市を、ワールドタイムに合わせて鳴らしたいときはワールドタイム都市を表示させます。
※ホームタイムまたはワールドタイムをサマータイムONに設定しているときは、アラームモードでもDSTマークが点灯します。



3.「時」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

➔「時」が点滅します。



4.「時」をセットする

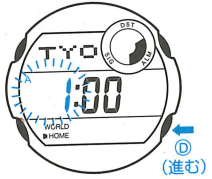
Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

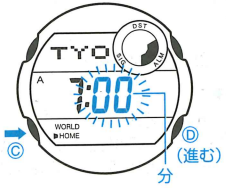
※ホームタイムを 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。



5.「分」のセット

Ⓒ ボタンを押します

➔「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様に Ⓓ ボタンを押して数字を選びます。



6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

ご注意

セット後、ホームタイム都市またはワールドタイムモードで表示させている都市を変更すると、アラームモードで設定した都市も自動的に変わります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓボタンを押すごとアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。

※アラームを鳴らしたいときはアラームマークを、時報を鳴らしたいときは時報マークを点灯させます。



■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻が合っていないときは以下の方法でセットします。

※月に一度くらい「秒」合わせをすると、時刻はいつも正確です。

■時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➔「秒」が点滅します。



2.「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの調整

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➔「00秒」からスタートします。

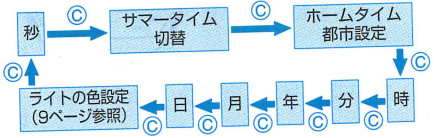
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

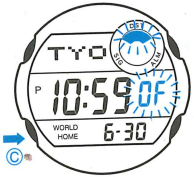


3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➔Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





4. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➔Ⓓ ボタンを押して点滅箇所をセットします。

★「サマータイム切替」のときは…

➔Ⓓボタンを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※OF＝サマータイムOFF（通常時間）
On＝サマータイムON（夏時間）

※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。

※サマータイムについては19ページ参照。



★「ホームタイム都市設定」のときは…

➔Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進みますので、ホームタイム都市を選びます。

※押し続けると早送りします。

※都市コードについては 20 ページ参照。



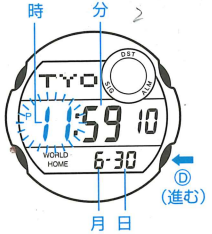
★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

➔Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。



3.～4. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※正しく年月日をセットすると自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精度：平均月差±15秒以内
基本機能：時・分・秒、午前（A）／午後（P）／24時間制表示、
月・日・曜日、フルオートカレンダー(2000～2039年)、
サマータイム設定機能
ワールドタイム機能：世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を表示、
サマータイム設定機能
デイカウンター機能：今日から設定日までの日数を表示
設定範囲＝1940年1月1日～2039年12月31日
「月日」一致報知機能
テレメモ機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）を20件メモリー
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、
1・2着同時計測
1時間ごとに1秒間の電子音で報知
タイマー機能：セット単位＝1分　計測単位＝1秒
計測範囲＝24時間
タイムアップを10秒間の電子音で報知
リピートタイマー／オートリピートタイマー

アラーム機能：時刻アラーム
セット単位＝時・分　電子音＝20秒
ホームタイム都市／ワールドタイム都市選択機能
時報　毎正時2回電子音で報知
その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、ライト発光色設定、
マルチイルミネーター（多色発光LEDバックライト）、
モニターアラーム
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ　CMOS-LSI
使用電池：CR-1620（電池別途販売）
電池寿命：約3年
（電子音20秒間／日、ライト3秒間／日使用した場合）
※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
● 1日当たりライト9秒間使用…約2年
● 1日当たりライト24秒間使用…約1年

ご使用上の注意

■防水性

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

● 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
● 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■磁気

● 時計機能には影響ありません。

■静電気

- 極度の静電気により誤った時刻を表示したり、電子部品が破損する場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

■薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

カシオ計算機株式会社

MA0208-000501A